



福祉対策会議報告(1月休会、2月4日実施)

- ・東京都の次年度予算概要、防災計画概要の資料配付
- ・「手話でGo!」パンフレットは、12月中旬に区市へ配布した。
- ・We Love コミュニケーションパンフ(WL パンフ)は、東京で約17,000部の在庫を抱えている。1月27日の区市会長会議で、WL パンフの販売促進と普及活動の再開と、「手話でGo!」パンフレットの有効活用についてお願いをした。
- ・「参政権委員会の福祉対策会議専門部会への移管について」提案があった。
参政権委員会は事務所を持っていないために、素早い対応ができない。東聴連事務所や中難協事務所を通した素早い対応が必要な時がある。盲ろう者団体との関係作りや政党との交渉を考えると、福祉対策会議の専門部会がふさわしい。(今後も継続審議をする)
- ・聴力障害者情報提供施設・森施設長から、相談支援事業の取り組みについて報告がある。
- ・手話通訳等派遣センター高岡正事務所長から「民間の派遣団体の入札」について報告がある。
裁判所は裁判員に選ばれた聴覚障害者のための手話通訳者を、千葉・埼玉等の近県を含め派遣団体に見積もりを出させ入札によって決めたようだ。その結果、民間の大きな通訳団体(詳細は不明)が落札したとのこと。
- ・次回福祉対策会議記録は3月4日(月)です。協力をお願いします。

(文責 高田)

自立支援センター運営委員会報告

1月12日(土)10~12時

2月9日(土)10~12時

○上級手話講習会

自立支援センター4講座・多摩地域2講座

申込・問い合わせ:自立支援センター

申込締切:3月27日(水)必着

○ふれあいサロン

ビール等、おつまみの準備があります。

今後の予定:3月9日(土)18時から

4月以降は偶数月の第二土曜日

ろう・健聴問わず、みなさんぜひ一度参加してください!

○特別講演会第3段

テーマ「手話は奥深い」

日時:3月31日(日)14~16時15分

場所:渋谷区リフレッシュ氷川1階集会室

講師:那須英彰氏

参加費:1,000円

チケット発売中、FAXでの申し込みも可

○耳の日記念文化祭

模擬店:お汁粉、甘酒販売(東京都障害者福祉会館駐車場)

バザー:食器、衣類、ゴマ飴他(東京都障害者福祉会館2階B1)

活動展示:(港区勤労福祉会館第1洋室)

○法人化について

2011年5月東聴連定期評議員会総会で名称「公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構」承認
定款・内規等確認作業、東京都との打ち合わせをしながら進めてきたが、10月頃より主管大会の準備等で法人化準備が滞る。

2012年12月公益法人化準備再開

今後は3月敵評議員会・総会で定款、事業計画、予算の承認を経て、6月法人社員総会で役員選出、都の公益法人審議会に提出・審議、10月審議会承認後公益法人登記の予定です。

○次回 運営委員会は3月12日(土)10時から

以上です。

(文責 杉石)

参政権保障委員会報告(2013/01/15)

参政権保障委員会では、毎月第3月曜日に定期会議を開催しています。(1月は、会場の都合で第3火曜日でした)

政見放送ビデオ上映会

都知事選、衆議院選のダブル選挙が、2012年12月16日(日)に行なわれました。それにもない、参政権保障委員会では、前日の12月15日(土)に政見放送のビデオ上映会を行ないました。当初4カ所での開催を予定していましたが、最終的には3カ所(自立支援センター、スマイル中野、葛飾シンフォニーホール)で開催しました。数名~20名くらいの方にご参加をいただきました。次回の選挙でも、今回の上映会の反省を踏まえつつ、より多くの方に参加していただける政見放送ビデオ上映会を開催していきたいと思えます。

都選管との懇談会

2月18日(月)に東京都選挙管理委員会との懇談会が開かれました。(懇談会の内容については別途、ご報告いたします)

青年会議所への要望書

東京青年会議所が開催している立候補者の公開討論会について、情報保障等を充実してもらえよう、要望書を作成し送付する予定です。5月末くらいの送付を目標にしています。

次回の会議は2013年3月18日の予定

(事務局 三村)

都サ連一日研修会に参加して

(法政大学 高橋溪子)

先日、サークル員4名で1日研修会に参加させていただきました。

大変勉強になりました！地域のサークルとしてのあり方についてや、手話サークルというコミュニティの大切さについて考えさせられました。

また、私含め2名就活生がおりましたが、社会の責任や行政に求められていること(公務員志望者がおりましたので)について考えることが出来、そちらの意味でもとても有意義な会でした。新代表含む後輩2名も、非常に楽しかった、大人が行う議論を見ることが出来て良かった！と喜んでおりました。貴重な機会をありがとうございました。

法政大学 高橋溪子
手話サークルわたがし

現会員数:63名

主な活動日:毎週平日・土曜日、各1回ずつ

広報班の活動報告

サークル訪問記 ~渋谷手話の会~

11月30日(金)夜7時に渋谷駅宮益坂裏手の施設「美竹の丘しぶや」を高田代表と訪問しました。山田会長によると、サークルは学習中心の内容で、講習会の延長の様なイメージで参加して下さいとのこと。中級クラス、初級クラスと分かれて表現の練習です。高田代表が中級、私は初級に参加させて頂きました。初級では「ノーマライゼーション」の意味の文章を一人一人テープを聞きながら表現しました。中級では二人ペアになり、テープの内容を交互に表現して相手に見てもらう方法でした。最後には山田会長から模範が示され、一同息を呑んで見守っていました。伝統のある渋谷手話の会の学習は講習会を卒業した後の手話学習の場がないと悩むサークルの会員にとってどれほど有難いことでしょうか。そして勉強の傍ら、先日の地域で開催された区民祭のような行事の様子をスライドやDVDで鑑賞しました。渋谷手話の会が出したバザーの店の様子や、舞台上の手話コーラスの様子が映し出され、当日参加出来なかった会員も来年こそはと話していました。なるほど私達はサークルで要員を集めたり実行委員を募集したりしますが、その行事の様子を他のサークル員に映像で還元することは少ないのではないのでしょうか？これこそサークル活動におけるエコ感覚とでも言うのでしょうか。

当日はろう者はおられませんでした。ろう者と一緒に学べたならと少しだけ残念に思いました。

それでもサークルの中できちんと手話学習をするという渋谷手話の会の考え方は、逆に今、新しいあり方としてサークル運営の参考になるのではないのでしょうか。都サ連のパフレットと資料を会員の皆さんにお配りして、今後とも行事等での協力をお願いして帰って来ました。訪問の連絡等でお世話になった山口さん、快く迎えて下さった山田会長そして会員の皆さん有難うございました。

(文責 広報 山崎)

